

# 2011年(平成23年)12月期 第2四半期決算説明会

於 兜町平和ビル3階 第3セミナールーム  
2011年(平成23年)8月29日(月) 午後3時30分～4時30分

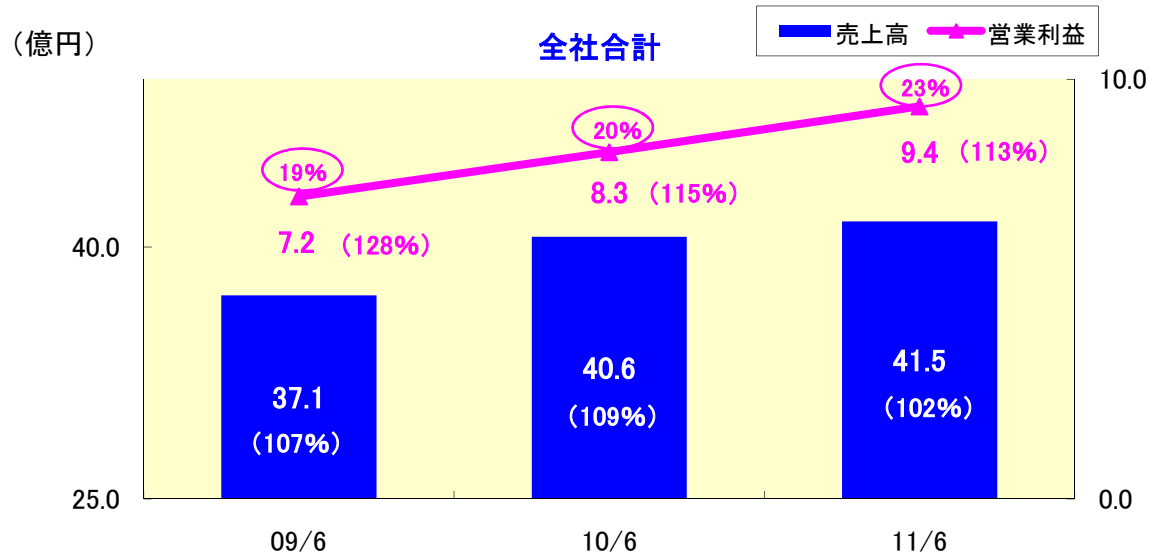
1. 決算概要 & 通期の業績予想
2. 当社の基本戦略

アイ・エム・アイ株式会社

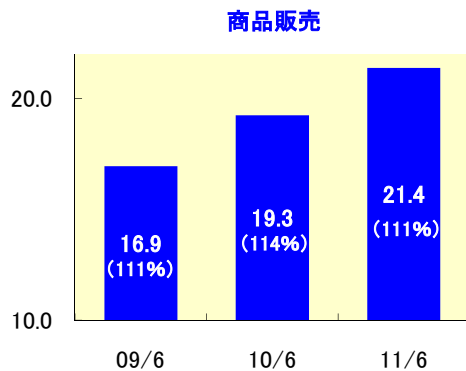


# 1. 決算概要 & 通期の業績予想

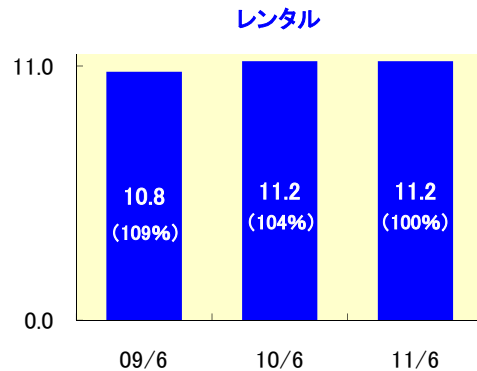
# 2011/12期 第2四半期 売上高推移



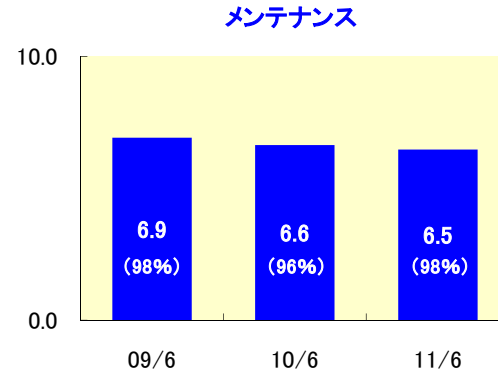
売上・営業利益は2期連続で過去最高(第2四半期)を更新



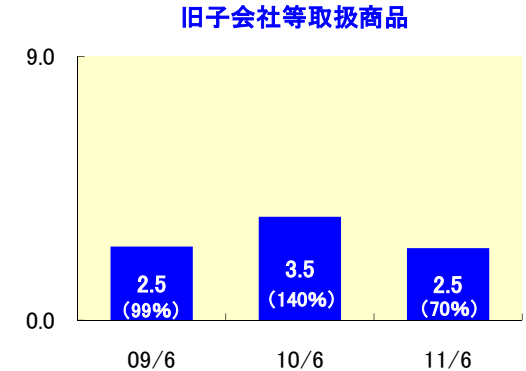
低体温療法関連の  
体温管理機器と脳機能モータや  
高機能患者シミュレータ等が好調で  
4期連続の増加



09からの新型インフルエンザ対策に伴う  
人工呼吸器の納入実績増加による  
影響で前年比微増



人工呼吸器の納入実績増加で  
新規の保守契約は増大しているが  
旧型商品のオーバーホールが減少



売上は前年比減少したが  
粗利率が低いので  
利益への影響は少ない

## 2011/12期 第2四半期 決算概要

科目	前期比較					当期比較				
	10/6		11/6		増減	11/6予想		増減		
	金額	比率	金額	比率		金額	比率			
売上高	4,060		4,152		2.3%	92	4,150	0.0%	2	
売上総利益	1,962	48.3%	2,093	50.4%	6.7%	131	2,000	48.2%	93	
販売管理費	1,136	28.0%	1,157	27.9%	1.8%	21	1,150	27.7%	7	
営業利益	826	20.4%	935	22.5%	13.2%	109	850	20.5%	85	
経常利益	849	20.9%	954	23.0%	12.4%	105	860	20.7%	94	
四半期純利益	487	12.0%	548	13.2%	12.5%	61	495	11.9%	53	
為替レート (US\$)	¥91.7		¥83.5		-8.9%	¥-8.2	¥90.0		-7.2%	¥-6.5

売上・営業利益だけでなく経常利益・当期純利益も2期連続で過去最高(第2四半期)を更新

# 2011/12期 第2四半期 売上実績

(百万円)

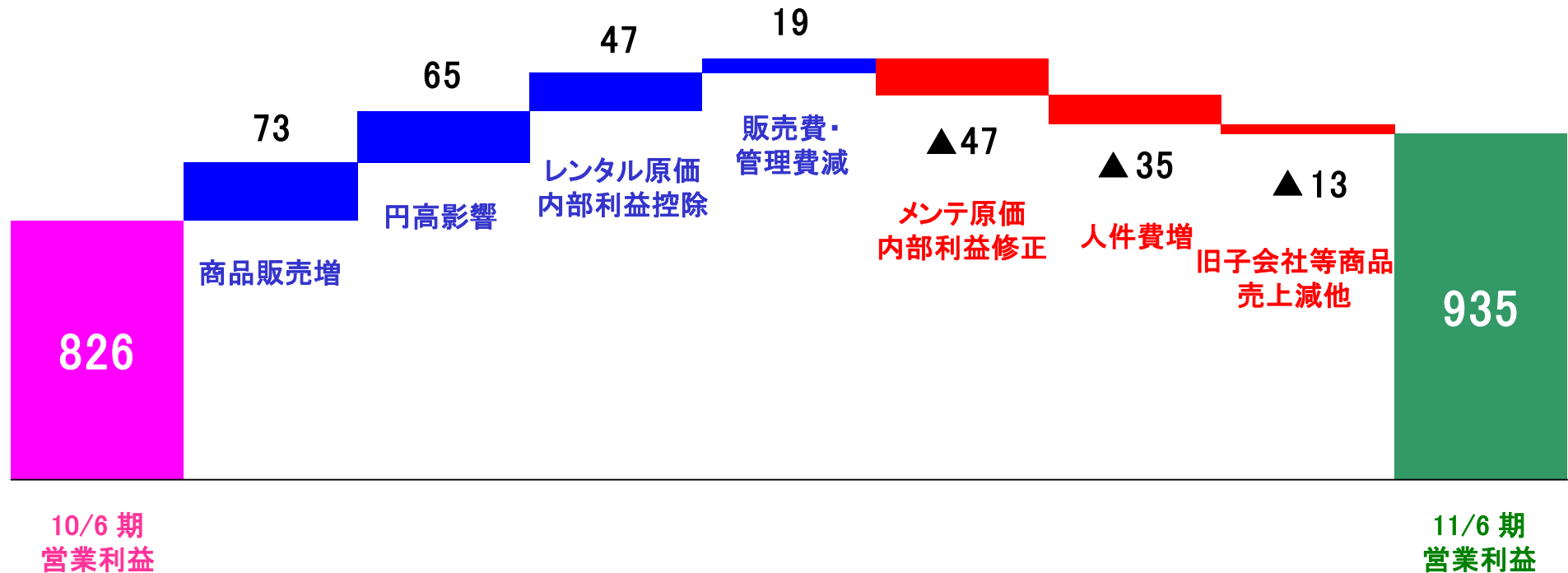
事業区分	主な商品	前期比較			当期比較	
		10/6	11/6	増減	11/6予想	増減
生体機能補助・ 代行機器	人工呼吸器 麻酔器	890	839	-6% ▲ 51	912	-8% ▲ 73
生体现象計測・ 生体情報モニタ	脳機能モニタ 赤外線酸素モニタ	224	287	28% 63	251	14% 36
その他商品	体温管理機器 高機能患者シミュレータ	811	1,013	25% 202	861	18% 152
商品販売小計		1,925	2,139	11% 214	2,024	6% 115
旧子会社等取扱商品	設備関連機器	351	246	-30% ▲ 105	260	-5% ▲ 14
レンタルサービス	人工呼吸器 赤外観察カメラシステム	1,120	1,120	0% 0	1,191	-6% ▲ 71
メンテナンスサービス	人工呼吸器 体温管理機器	663	647	-2% ▲ 16	675	-4% ▲ 28
合計		4,060	4,152	2% 92	4,150	0% 2

**前年比較:** 低体温療法関連の体温管理機器と脳機能モニタや高機能患者シミュレータ等の販売が増加  
旧子会社等商品、前年が過去最高(第2四半期)であった人工呼吸器の販売及びメンテは減少

**計画比較:** 体温管理機器、高機能患者シミュレータ等の販売が計画を上回り、  
人工呼吸器の販売・レンタル・メンテは下回った

# 2011/12期 第2四半期 営業利益増減の要因(対前期比 **+109百万円**)

(百万円)



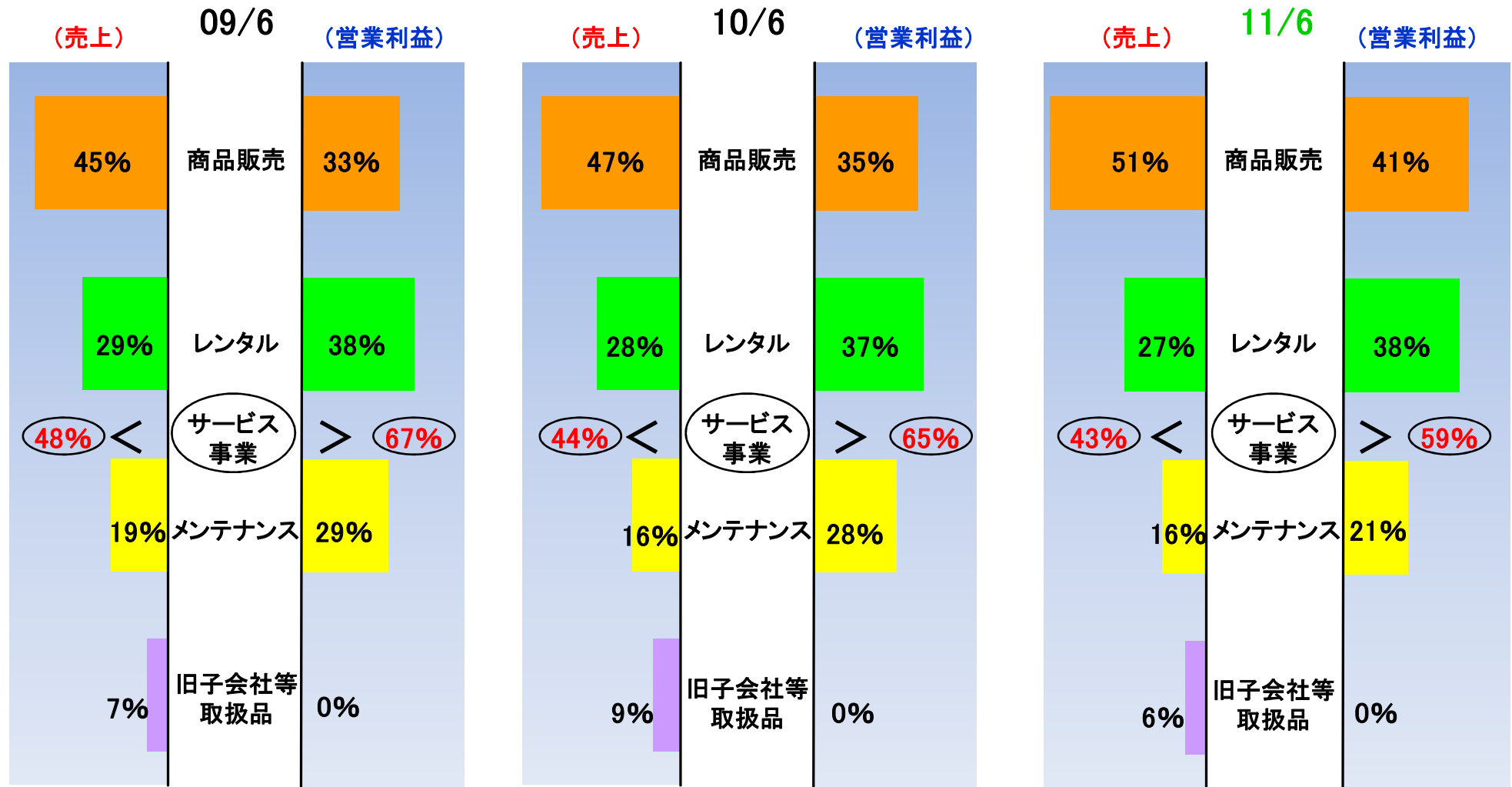
※為替影響

■11/1-6 平均為替レート 1\$ = ¥83.5 [前期比 ¥8.1 (8.9%)の円高] 1DKK = ¥15.5 [前期比 ¥1.5 (9.0%)の円高]

1EUR = ¥115.1 [前期比 ¥10.9 (8.7%)の円高] の影響等で、65百万円の原価減

\$レート1円円高(安)の売上総利益への影響	年間約 12百万円
DKKレート1円円高(安)の売上総利益への影響	年間約 6百万円
EURレート1円円高(安)の売上総利益への影響	年間約 1百万円

# 2011/12期 第2四半期 売上と営業利益の実績構成比率表



商品販売の売上と営業利益の構成比率が3期連続の増加  
 サービス事業の売上と営業利益構成は3期連続の減少となったが、営業利益金額では前期比プラス成長

## 2011/12期 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	10/6	11/6	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,283	1,076	▲ 207
税引前純利益	850	956	106
減価償却費	273	219	▲ 54
売上債権の減	482	454	▲ 28
たな卸資産の増減(▲は増)	148	▲ 232	▲ 380
法人税等の支払	▲ 404	▲ 318	86
その他	▲ 66	▲ 3	63
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 186	▲ 712	▲ 526
定期預金預入	-	▲ 200	▲ 200
有価証券売却	100	-	▲ 100
有形固定資産取得	▲ 199	▲ 123	76
投資有価証券取得	▲ 100	▲ 412	▲ 312
その他	13	23	10
フリーキャッシュフロー	1,097	363	▲ 734
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 396	▲ 311	85
自己株式取得	▲ 81	-	81
配当金の支払	▲ 315	▲ 311	4
増減額	700	51	▲ 649
四半期末残高	4,901	5,367	466

## 2011/12期 第2四半期 貸借対照表の主な増減

(百万円)

	10/12	11/6	増減	
流動資産	7,976	8,381	405	有価証券 + 696 商品 + 233 売上債権 ▲ 454 その他 ▲ 70
固定資産	4,274	4,287	13	
総資産	12,250	12,668	418	投資有価証券 + 94 その他 ▲ 81
流動負債	1,495	1,639	144	未払法人税等 + 119 その他 + 25
固定負債	561	590	29	
純資産	10,193	10,438	244	退職給付引当金 + 27 役員退職引当金 + 2
自己資本比率	83.2 %	82.4 %	▲ 0.8 ポイント	四半期純利益 + 548 配当による減少 ▲ 313 その他 + 9
総資産回転率	0.66 回	0.67 回	0.01 回	
回収日数	80 日	56 日	▲ 24 日	
在庫日数	70 日	90 日	20 日	
支払日数	66 日	58 日	▲ 8 日	
総資産経常利益率	12.8 %	7.5 %		

有価証券や商品の増加等により総資産は増加し、四半期純利益等により純資産も増加  
売上債権の減少により回収日数は改善したが、商品の増加により在庫日数は悪化

## 2011/12期 第2四半期 設備投資等の動向

(百万円)

	07/12	08/12	09/12	10/12	11/6 (第2四半期)	11/12 (予想)
設備投資額	368	631	576	325	128	430
減価償却費	486	520	641	569	219	565
内 レンタル投資	306	516	439	268	112	330
同上 減価償却費	337	387	497	425	159	416
同上 償却残高	724	839	772	605	556	519
I T 投資	49	99	124	50	10	50
総 人 員 数	256	256	255	261	270	272
除く 役員・パート・派遣	191	190	193	198	207	209

人工呼吸器を中心とするレンタル備品化投資を継続

## 2011/12期 業績予想

(百万円)

科目	11年(8.5予想)						11年(期初予想)		増減	
	上期(実績)		下期(差引)		通期		通期		通期	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	伸び率
為替レート(US\$)	¥ 83.5		¥ 85.0		¥ 85.0		¥ 90.0		¥-5.0	-6%
売上高	4,152		3,948		8,100		8,100		0	0%
商品販売	2,139		1,801		3,940		3,840		100	3%
旧子会社等取扱商品	246		264		510		510		0	0%
レンタル	1,120		1,180		2,300		2,380		▲ 80	-3%
メンテナンス	647		703		1,350		1,370		▲ 20	-1%
売上総利益	2,093	50%	1,777	45%	3,870	48%	3,860	48%	10	0%
販売管理費	1,157	28%	1,173	30%	2,330	29%	2,320	29%	10	0%
営業利益	935	23%	605	15%	1,540	19%	1,540	19%	0	0%
経常利益	954	23%	611	15%	1,565	19%	1,565	19%	0	0%
当期純利益	548	13%	347	9%	895	11%	895	11%	0	0%

通期売上予想の合計は変更なし、好調な商品売上を増やしレンタル・メンテナンスの売上は減らした  
 US\$レートは¥85に変更し、円高メリット(約60百万円)が見込まれるが  
 売上構成の悪化が相殺し、利益予想は変更なし

## 2. 当社の基本戦略

事務連絡  
平成23年3月14日

日本医療機器産業連合会 }  
日本医療機器販売業協会 } 殿  
(一般社団) 日本産業・医療ガス協会 }

厚生労働省医政局経済課

東北電力株式会社による計画停電に係る在宅医療機器使用患者の対応について

今般の東北地方太平洋沖地震については、必要な医療の確保に最大限の御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

先ほど、東北電力株式会社より、管内全域に及ぶ大規模な停電を回避するため、予見性のある形で地域ごとに実施する計画的な停電（以下「計画停電」という。）について検討を行っている旨の発表がありました。

これについては、別添のとおり関係都県医療主管課等あて依頼しておりますので、貴会におかれましても、当該事務連絡の内容について御了知いただき、人工呼吸器、酸素濃縮装置、在宅透析機器、吸引機器等の在宅医療機器を使用している患者について、医療機関と十分に連携し、その使用に支障が生じないよう、電話連絡や直接足を運ぶことにより、患者への周知、追加のバッテリーや代替機器の配布、貸し出しなどの対応の徹底をよろしくお願いいたします。

今後の見通しは不明確であるものの、事態の重大性に鑑み、当課としても、得られた情報を随時連絡いたしますので、今後の事務連絡等に御注意下さい。

傘下のメーカーが遺漏なく計画停電に対応できるよう、貴団体におかれましては、傘下のメーカーに対し、計画停電の実施について注意喚起の周知徹底をお願いいたします。

支障が生じうる場合には、当課あて御報告願います。

事務連絡  
平成23年4月8日

都道府県医療主管課 御中

厚生労働省医政局指導課

停電に係る在宅医療患者への対応について

今般の東日本大震災については、必要な医療の確保に最大限の御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

4月7日夜に発生した東日本大震災の余震と思われる地震の後、東北電力管内の地域が停電となっている時間帯に、山形県尾花沢市で人工呼吸器と酸素濃縮装置を使用中の患者が死亡する事案が発生いたしました。

停電と死亡の因果関係については不明ですが、貴課におかれましては、貴管下の医療機関及び訪問看護ステーションに対し、人工呼吸器や酸素濃縮装置等の在宅医療機器を使用している患者に対する停電時の対応について、必要に応じ医療機器メーカーと協議を行った上で、

- ・人工呼吸器の内臓バッテリーの有無と持続時間、作動の再確認
  - ・人工呼吸器の外部バッテリーの準備及び事前の充電
  - ・酸素濃縮装置を在宅で使用している患者に対し、必要な酸素ボンベが配布されているかの再確認
  - ・人工呼吸器や酸素濃縮装置を使用している患者に対する停電時の対応の周知
  - ・停電等電源異常時のアラームが正しく作動するかの再確認
  - ・携帯用酸素ボンベセットの使用法の再確認
  - ・患者の状態を踏まえた適切な在宅医療機器への代替や貸出などの対応
  - ・在宅医療患者との緊急時連絡体制の再確認
- 等により、在宅医療患者への医療の提供が、停電時においてもできるだけ支障なく行われるよう、適切な指導の実施について特段の御協力をお願いいたします。

<連絡先>

厚生労働省医政局指導課在宅医療係  
電話（代表）03-5253-1111（内2662）

## 5回の経験を活かした「東日本大震災」危機管理の優先順位

- ①社員と家族の安否確認と生活環境確保の支援
- ②在宅人工呼吸器患者の安否確認と安全使用支援サービス提供
- ③会社資産の確認と保全(特に貸出中機器・レンタル中機器・債権・設備)  
【被害報告】→ 再発防止策につながる資産保全方法の提案
- ④企業統治能力と5つの支援サービスが提供出来る全社的業務執行体制整備
- ⑤社会的慈善活動と業務としての5つの支援サービス活動の同時並行展開開始

### 【社会的慈善活動】

・ツインポンプとアンブバック 500個の無料 3ヵ月間レンタル(無料レンタル期間は必要により延長)

回収後は危機発生時に迅速に出荷出来る公共財としてのレンタルサービスプラットフォームづくりを目指し備蓄備品化

【5つの支援サービス】→ 過去5回の危機管理時は全て増収増益で社員賞与も増額

①1974年創業時

②1995年阪神大震災

③1999年Y2K

④1999年インフルエンザ大流行

⑤2009年新型インフルエンザ対策

- ⑥阪神大震災・Y2K時等の記録を有益情報として活用。今回も経験したことを記録に残し会社の危機管理対策承継・改善・新ビジネス/サービス開発につなげる
- ⑦危機管理の結果は人事評価に反映する

## 東日本大震災に伴う停電対策としての社会的慈善活動

在宅人工呼吸器利用患者さんの安心安全に配慮し、厚生労働省と相談の上、電力事情の切迫する被災地の医療機関、計画停電対象地域の厚生労働省指定「人工呼吸器を利用する在宅医療患者の緊急相談窓口の設置」病院、在宅療法関連施設への直接支援として市場価格33百万円相当の医療機器供給支援を決定

アンブ社「ツインポンプ」  
(足踏み式マニュアル吸引器)  
※500台・3ヶ月無償レンタル対応



- 動力は足踏みなので、停電時にも確実に痰、嘔吐物を吸引。
- ダブルアクションピストン採用により大きな吸引圧。
- 分解・組立も容易。滅菌、消毒も簡単。
- 手でも足でも安定した吸引が可能。

アンブ社「蘇生バッグ SPUR II 成人用」  
※500個・3ヶ月無償貸与対応



- 使用する患者さん(シングルペーシェントユース)専用バック。
- 酸素リザーバーで高濃度酸素投与が可能。
- ハンドストラップ付きなので長時間使用も容易。
- 分解・組立は不要で、いつでも安心して使用。

# 2011/12期 第2四半期 <<トップシェアのキープを目指した人工呼吸器戦略>>

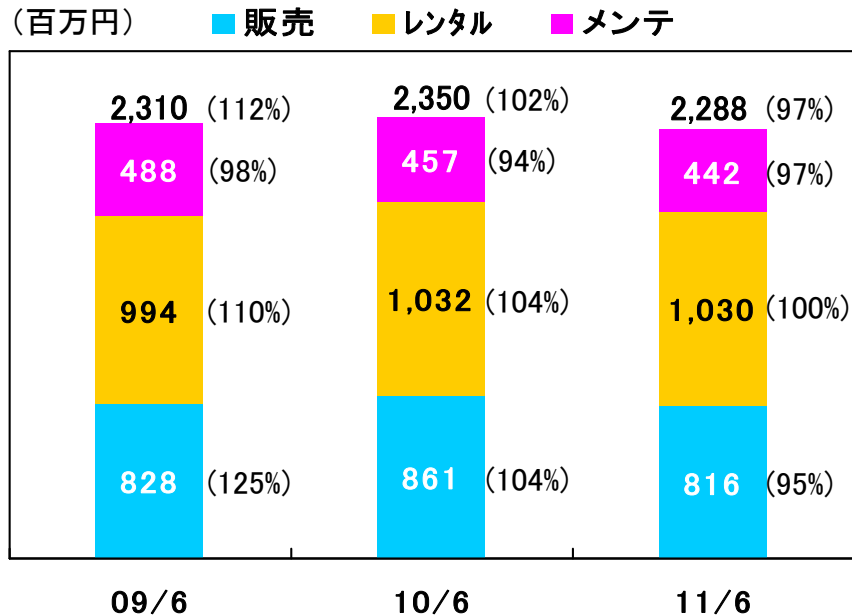
①病院予算を中心とした更新主体市場の販売戦略

②新型インフルエンザ対策予算獲得の販売戦略

③新生児から大人まで使用可能な高級機種の世界開発

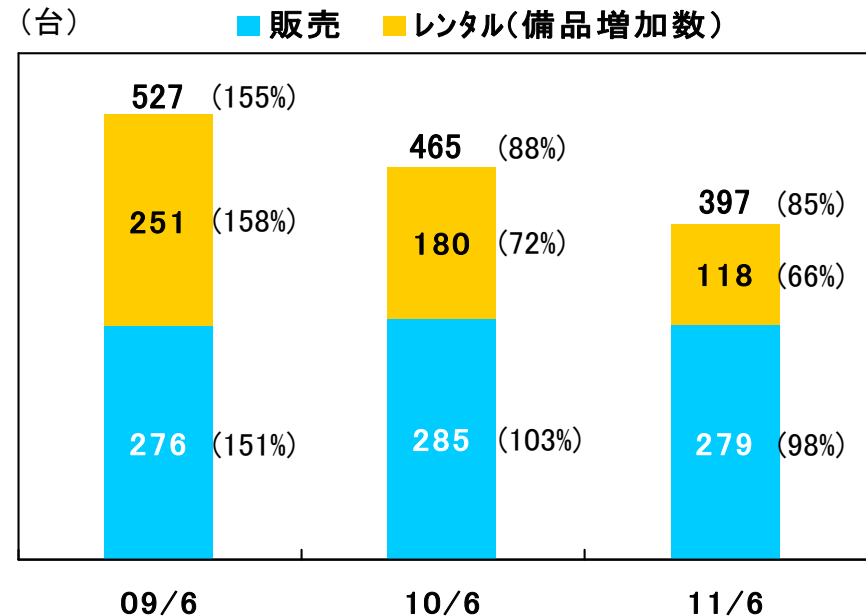
## 売上成果実績

### 第2四半期売上高



※関連機器、消耗品の売上を含む

### 第2四半期出荷台数



## 米国METI社製高機能患者シミュレータの売上が前期比約2.5倍と急成長

昨年発売したワイヤレス型シミュレータ“METIマン”の高い評価、地域医療再生計画予算によるシミュレーション・センターの新設需要などにより売上が急成長



7月にカナダを公務訪問された英国ウイリアム王子・ケイト夫妻はカルガリー大学医学部にてMETI社製「アイスタン」と御対面。心肺停止に陥った「アイスタン」に王子が胸骨圧迫による心肺蘇生を試みるという一幕がありました（英国ミラー誌 7月8日掲載）

- ◎ 米国では麻酔専門医資格更新時に高機能患者シミュレータ教育履修が必須化、看護学生の病院実習の一部が高機能患者シミュレータに肩代わり認可など、高機能患者シミュレータ教育が益々スピードアップ
- ◎ 中国・韓国・インドネシアほかアジア諸国でも大規模なシミュレーションセンターが、ぞくぞく建設
- ◎ IMIは高機能患者シミュレータの将来性にいち早く着目、METI社初となる海外代理店として‘96年より発売開始。医科大学、看護大学、薬科大学、急性期病院を中心に120台を超える販売実績。新しい教育ツールとしての期待が高い高機能患者シミュレータの普及スピードを速めるためにレンタル市場も開発中

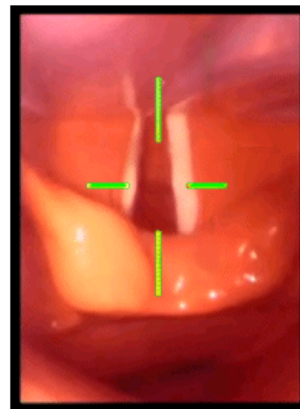
# 救急救命士による気道確保にビデオ硬性挿管用喉頭鏡

通達(消防救第217号、医政指発0801第3号)によって、救急救命士が従来の喉頭鏡に比べ、より安全により確実な気管内挿管が出来るビデオ硬性挿管用喉頭鏡の使用許可発令

- ・**使用資格者**: 気道確保のための講習、実習を終了している気管内挿管資格者および今後この資格を有する者
- ・**新たに必要な講習・実習**: 総務省、厚生労働省が新たに定めた7時間のビデオ硬性挿管用喉頭鏡追加講習および研修病院での気管挿管実習(原則5例、成功症例数は2~5例の範囲内でメディカル・コントロールが検討・判断)

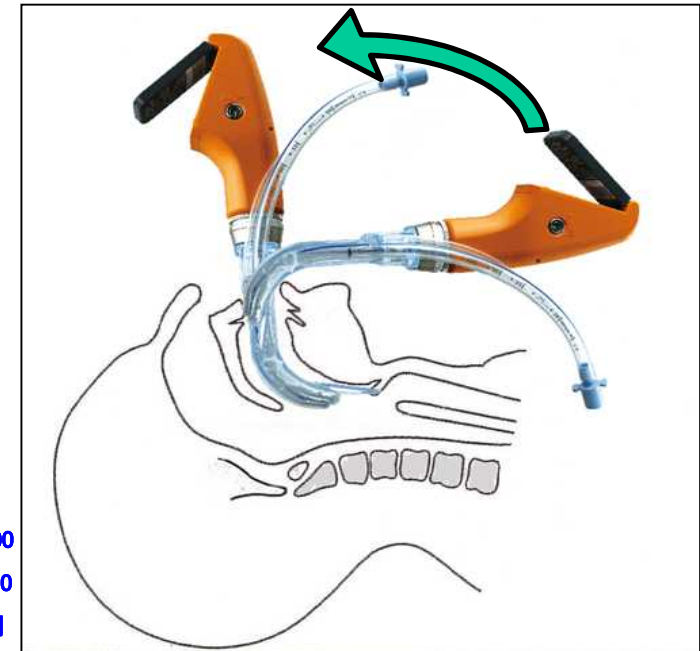
すでに麻酔科、救命救急センターなどを中心に5年間で約3000台のビデオ硬性挿管用喉頭鏡(HOYA社製エアウェイスコープ)を販売。今回の発令により救急車市場へのビジネス拡大を期待

- ・全国800消防本部(稼働救急車数:約5,500台) ・救急救命士養成教育(48施設) ・実習受入れ病院施設



ビデオ硬性挿管用喉頭鏡頭鏡  
(HOYA社 エアウェイスコープ)

希望販売価格 エアウェイスコープ本体 ¥850,000  
イントロック(5本入) ¥12,500  
レンタル エアウェイスコープ本体 ¥20,000/月



# 2011年新商品 アークティックサン5000(米国メディバンス社製)

## 低体温療法分野 3機種合計売上 前年比約190% !!

アークティックサン2000(体温管理機器)



ニコレーワン(脳機能トレンドモニタ)



脳低温療法の実施判断、脳低温療法の神経学的治療効果の判定、予後の予見などにaEEGなどのパラメータが使われ始めています。

NicoletOne™

NIRO(赤外線酸素モニタ)

NIRO-200NX



### モデル5000の特徴

- ・低体温療法の冷却・維持・復温の一括した自動制御が可能
- ・目標体温、患者体温、水温のトレンドグラフを大型画面で表示
- ・過去10例分の治療データを記憶

### 追加アクセサリ

現状パッド対応 5Kg未満新生児、30kg以上の小児・成人患者



2011年秋 モデル5000+追加アクセサリ販売予定

この資料に記載されている業績予想数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、今後の事業運営や市場の状況変化など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は予想数値と大きく異なる可能性がありますことをご了承の上、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

<お問合せ先>

経営企画部 三原

- 電話：048-968-4455 (証券コード: 7503)
- FAX：048-961-1350
- メールアドレス：ir@imimed.co.jp

